

製品名: CLIP-115 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09043**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	CLIP2 CLIP2; CYLN2; KIAA0291; WBSCR3; WBSCR4; WSCR4; CAP-Gly domain-containing linker
別名	protein 2; Cytoplasmic linker protein 115; CLIP-115; Cytoplasmic linker protein 2; Williams-Beuren syndrome chromosomal region 3 protein; Williams-Beuren syndro
遺伝子 ID	7461.0
SwissProt ID	Q9UDT6
免疫原	抗血清はヒト CLIP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 997-1046

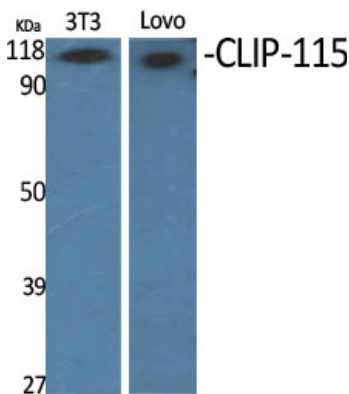
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞質リンカータンパク質ファミリーに属し、特定の膜状細胞小器官と微小管との相互作用を媒介すると考えられています。このタンパク質は、微小管と樹状層状体と呼ばれる細胞小器官の両方と関連することが確認されています。この遺伝子は、7q11.23における連続遺伝子の欠失によって引き起こされる多系統発達障害であるウィリアムズ症候群において、半接合性に欠失しています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、2つの転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：CLIP2のハプロ不全は、ウィリアムズ症候群（WBS）で観察される特定の心血管系および筋骨格系の異常の原因である可能性があります[MIM:194050]。WBSはまれな発達障害です。これは、染色体バンド7q11.23の遺伝子が関与する連続遺伝子欠失症候群です。機能：微小管を樹状突起ラメラ体（DLB）に連結すると考えられています。DLBは主にニューロンの球状樹状突起付属器官に存在し、樹状突起ギャップ結合によって連結されています。脳特異的な細胞内小器官の転座制御に関与している可能性があります。類似性：2つのCAP-Glyドメインを含みます。細胞内局在：細胞骨格に関連します。サブユニット：CLASP1およびCLASP2と相互作用します。

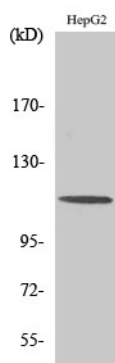
研究分野

微小管ダイナミクスの制御

画像データ



CLIP-115 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



CLIP-115 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析